

「バーベキュー」の気付き

氏名	本人の気付き	受講生の気付き
上甲	・難しかった。特に、医師の発言を通訳者を介して伝えるところの表現が難しかった。	
中島		・テーブルの数が多かった。 ・医師の発言のところが、通訳者を介した表現になっていなかった。
井筒		・入院の様子がはっきりわかった。 ・間がありわかりやすい。
馬場		・テンポが良い。 ・通訳者と医者の位置があいまい。
井村	・倒れたが死んだになっていた。(講師より、気づいたことは良いとのこめんとあり。)	・オードブルの表現の時、最初のものを残した表現はわかりやすくて良い。 ・医師と通訳者の位置を先に表しており良かった。 ・ロールシフトで通訳者の伝え方を表しており良かった。
川崎		・食事の内容を具体的に表しており良かった。 ・医師の発言を通訳者を介して伝える部分の表現が良かった。
岩見		・テーブルを縦に並べるのは見にくい。 ・人が来るの表現が良い。 ・医師と通訳者の位置があいまい。
武田	・「3つのテーブルを並べ」のところの腕を横に開くような表現は何を表しているのかわからない。	(講師のコメント) ・テーブルを表す福岡の表現だと思われる。
平田		・医師と通訳者の位置が分かりにくい。 ・表情が良い。 ・オードブルの説明が良い。 ・入院から目が覚めるまでの流れが良い。

「バーベキュー」講師のコメント

- ・見る相手を考えて表現することが必要。縦に表現するのは見にくいので、横に表現すること。
- ・文章に拘った表現が多い。
- ・オードブルの表現は各々工夫をして表現して欲しい。
- ・「楽しんでいる途中」の途中の表現は不要。めまいを起こし倒れたという状況を表現することが大事。
- ・「気づいたとき」はその状況を CL で表現する。ロールシフトを意識すること。
- ・「医師から『160 と高めだね。食事と運動に気を付けてください』と手話通訳者を介して言われました。」のところは、先に医師と通訳者を表しておくとな表現しやすい。